

7 月 号

発行所 田代村公民館
電 話 1 9 番

発行責任者 湯ノ谷米吉
編集責任者 小川 兵一

鹿児島市易居町2
南日本新聞社印刷局

去る六月九日議會が開催、昭和三十一年度追加更正予算その他に三十七協賛されましたのでこの予算の關係について概要説明を加えます。

ますし建物、変な事になり又教室敷も足りないといふ事となりますので結局又教室、五、五坪の二階建を造ることとした訳です。

経費は色々な諸雑費を含め千百を主財源として見えています。

す、この財源としては

国庫補助 五、〇二五、九〇〇
起債 二、〇〇〇、〇〇〇
立木処分 三、五〇〇、〇〇〇

むす。

ひた野鳥の公憤性と云うものを
みるつて見ますと

五十年位前、ドイツのチューリッゲン地方で森林害虫が発生し殆ど全森林が被害をうけ、その中でフルレフツ男爵の所領だけは緑のまゝに残つたのです。これは男爵が小鳥の好むと所領内の各所に巣箱をかけ、小鳥の好む木をうえて小鳥を保護した結果であつたそうです。そこでドイツ全土に小鳥の愛護運動が起つて森林は漸次回復したと云ふことです。

また九十年程前フランス国内で現在の日本のように、小鳥の羽毛の装飾と小鳥料理が盛んになり、々々さんの小鳥が獲られたが、そして

万石上の被害があるといわれま

する。

ひるがへつて本村の場合は、今まで森林組合を中心に所有者の方々が協力して防除され、点々として見られない程度でしたが、近年になって根占からの侵入で辺志町・郷原に「まげむし」が発生し少量ではありますが被害をうけています。

このような状態を放置するならば重大な問題となつてしまいますので、何らかの対策を考えて見る必要が強く感じられるのです。

ここに前にのべました野鳥の保護の問題が大きく浮ひ上つて参りますが、もう一種類的な保護について、一つ真剣に考えたいといひ

林業普及員
山下郁男

本村に参りました當時、本村中學校におきまして、野性の小鳥の愛護の爲、毎年數百個にのぼる巢箱を系統的に山林内に取つてつておられるとうけたまわつて、非常に感服し、爽々しい氣持がいたしたのであります。

また先般は、田代村猟友会の方々が調場一致で本村内の中央部の

丘陵地（村有林と一部民有林）一带を向う三方年間（申し合せ禁猟区）に設定し、野鳥獣保護の爲、自からの愉しみを放棄された美しい心根を眼前に昇せられまして、私ますます感服を深くし、これであるからこそ田代は伸びるのだとの感をいだいた次の次第です。

それは、小鳥を愛する美しい心根

は私共の社会にも強く働きかけ、お互にやるわく協力して、毎日をたのしく過してゆけるからです

既に御承知かと思いますが、現在我が日本では、森林雷災のため毎年国家が支出する雷除機費は、百五十億円を算え、しかも、それにもかゝらず毎年二千万本の木が枯れ、材積に見積つて二千

あらゆる機会におすゝめしている
のですが、単色は実に奇麗ではあ
るが、欠点が多い上に、森林で
も純林と云ふことは、往々にして
色々の病害虫の蔓延をふながす
因となるものであります。
これは造林技術面になりますので
又の機会にゆづりますが、この方
面からの野鳥保護の見方も一応考
えて見るべき性質のものでありま
す。

またイギリスでは、昔から禁猟
区が各所に設けられて、巣箱とか
小鳥の好む木を植えるとか、小鳥
愛護の施設がゆきといていくそ
うで、従つて各種の被害は全く聞
かないのであります。

以上の説も、小鳥だけが害虫を
減じてくれるものであると云ふこ
とではないので、害虫の減少には
多くの因子があるが、小鳥の役割

若し官公衙や会社等のような職

役所上役の批判のまゝになつて居た。
おゝらかで、めつたに部下の陰

せたように、街庄長を中心に全職員が一致協力して、家族的な雰囲気をつくり上げ、然も役場内には

態を考へての、日曜返上が度外視されて行つた事は言う迄もない。我々の平凡な常識では、忙がし

節度を持つ仕事に對しなければ、
 能率は上るものではない。動中に
 休み、じつくり農事の研究をする
 日をつくつて見てはどんなものだ
 静を求める事は能率向上の鉄則だ

の誇であり、加村郡守の名誉でも

更に又米沢街長は「人の職業は

度を設け、農事研究を深める期会
来ると思う。

して、全日出勤制を取る職場が増加しつつあつた。

た。其の中で一同が特に肝に銘じて聞いた言葉は。

「竹南郡下十三に及ぶ全街庄の

ある。今後竹南郡内から、両街庄の如きすぐれた街庄が續々出て来る事を期待してやまぬ」と言う事である。

千差万別であるが、主に頭を使う職業に携わるものは、時々頭を休めて体を使つて鍛練し、主に体を使つて頭を休めるものが多い。寺々本

をつくり、清新な感覚で農業経営に當り、今日では農業の先進地として衆目を集める程発展して來てゐる。

※登録申込の手続き

- 1、次回の登録検査を受けた人
は右の定期検査の前月の十五日迄登録申込に登録証明書を提出して申込して下さい。
- 2、仔豚登記証明書はこの申込をする前に移動の証明を受けておか
ないで登録の申込を受けるにこ
とがありますから御注意下さい。
- 3、登録検査当日は豚をひきつけ
ると同時に印鑑を御携行下さい。
※仔豚登記を受ける場合
- 1、登録豚の仔が生れたら生后十
五日以内に畜産係りに生れた月日
頭数を口頭で届けて下さい。この
届けが正しい場合は仔豚登記を受
けられます。
- 2、検査は生后十、十五日間にあ
なたのお宅に伺いますから検査を
受ける前に離乳したものは資格を
失いますから御注意下さい。
- 3、検査の時までに種付した種雄
豚の管理者から種付証明書を買っ
ておいて下さい。

この種付証明書がなければ検査を
受けることは出来ませんから御注
意下さい。

※高等登録を受ける場合

仔豚が生れてから三日以内に口頭
で登録申込し、その都度早く

御協力方依頼

といふ御多難のことと存じま
 さへ街をさききる人は去を
 と、川べりや海辺では水にた
 れる子供の姿ちらほら見受
 ける時候となりまして、一方農
 作は麦、なたねの收穫から田植
 農繁期にさかへりましたので
 れらに備へ、警察は最縮りとし
 て、三、危険物による事故防止
 二、水難事故防止について
 暑くなるにつれ、川辺、
 ど水にしたしむ子供の姿
 ほら見受けられますが、
 難事故による犠牲者も相
 居ります。危険区域等
 は標示して居りますので
 下さい。

検査の注意事項

火災予防について
 農繁期になりますと、とかく父
 兄の監督不行き届きから子供の
 大遊びによる火災が起りがちで
 毎年この例もありますので火災
 防について御指導願います。

※登録を受ける場合
 豚の登録検査は次の通りで
 二月 五月 九月 十二月
 登録を受ける場合の手続は
 通りで期日迄に申込せられな
 査は受けられず従つて生れ
 も登記出来ませんので必ず
 つて下さい。

※登録申込の手続き
 1、次回回の登録検査を受け
 る旨の定期検査通知書の目的

す。
月
左記の
いと検
た仔豚
良く守
たい人
五

で申込んで下さい。
仔豚の数が七頭以上生きて生れた
時でなければ申込み出来ません。
又脱腸、片腿など畸型の仔豚が一
頭でもいたら申込みできません。
※その他の手続き
1、移動証明申込
登録豚も登録豚も売買された場合は
その都度移動証明の申込みをして
下さい。この申込みは売つた人がす

井手筋 (株)	口籍 元山 (口籍)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)	衛生 原 (厚生)
------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

提出を
申込み
ないか
きつて
は受け
この
月十日
生后十
証明書
間にお
検査を
資格を
た理雄
検査を
御注

することになっております。
この手続が必要ならばその後の
登記又は登録が出来ませんから注
意して下さい。

2、異動届
登記簿又は登録簿が死んだり漏れ
たりしたら異動届を出さなければ
なりません。

3、証明書又は耳標の再交付申込
証明書を汚したり紛失した時は再
交付を受けて下さい。

以上の手続はすべて一定の書式に
よってしなければなりません。用
紙は畜産課に準拠しておりますの
で申込するときは証明書と印鑑を
御携行下さい。

諸手續き一覽表

道

手続きの区分
種登録申込→検査前の月の五日
迄
高等登録申込→分後三三日迄
仔豚登記申込→生后十五日以内
移動証明申込→その都度早く
証明書又は耳標の再交付申込→その都度早く
異動届→その都度早く

八木繁樹

表 調査状況取聴 取者 全聴 一、神の如きし亀の瀬を
 聴位 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 聴位 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 順位 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 順位 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 ラジオ聴取状況調査表
 田代花瀬川旅情の歌
 S T 生
 二、清き流れの花瀬川
 緑の影を映しつゝ
 遠く杖引く童子の
 心とませる花瀬川
 三、岸辺の緑うつゝと
 葛起しに見ゆる花瀬橋
 若き生命をおはしに
 和語り合う花瀬橋
 四、くし眺めの花瀬川
 広く遠く石たゞみ
 岸辺に立つはローレライ
 神祕の流れ花瀬川
 俳句
 〇木材輸送
 任務は重し
 保線手
 短歌
 〇今日もまた
 無事故で帰る機関車に
 乗務員の労苦を偲はる
 〇黄金のみのり秋を夢みつつ
 歌にさる手に力湧きいつ
 〇中央線
 麗美なバスに
 笑をゆく、希望果てない
 下部落 木佐貫太 田代村